



## プログラム

13:00-13:15 趣旨説明

市川裕 (本科研プロジェクト代表者、東京大学名誉教授)

13:15-15:15

第一部 食と宗教の古代宗教比較文化論

司会 土居由美 (東京大学大学院人文社会系研究科研究員)

発題者

葛西康徳 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

「古代ギリシア宗教と動物犠牲——問題は解決されたのか？」

勝又悦子 (同志社大学神学部准教授)

「異教徒との接点としての食」

牧野久実 (鎌倉女子大学教育学部教授)

「土器資料に見る食の変容～フタと容器の関係から」

発題者によるディスカッション

15:45-17:45

第二部 新発見シナゴークから見るイエス時代のユダヤ教

司会 中西恭子 (東京大学大学院人文社会系研究科研究員)

発題者

上村 静 (尚絅学院大学総合人間科学部教授)

「ガリラヤのユダヤ化とその諸相——ハスモン時代からミシュナ時代まで」

山野貴彦 (立教大学文学部非常勤講師)

「紀元後1世紀のガリラヤとユダヤにおけるシナゴーク共同体の形成」

江添 誠 (神奈川大学外国語学部非常勤講師)

「バル・コホバの乱 (第二次ユダヤ戦争) における砦 ～その立地と戦略～」

発題者によるディスカッション

ヘレニズム文化が浸透したユダヤの地で

ユダヤ人はどんなアイデンティティを形成したのだろうか。

マテリアル・カルチャーとテキスト研究の接点に、新たな知見を見いだす。

「イスラエル国ガリラヤ地方の新出土シナゴーク資料に基づく一神教の宗教史再構築」最終シンポジウム  
モノとアイデアの古代宗教世界  
—新出土シナゴークをめぐる宗教研究の新たな試み—  
二〇二〇年三月一日 一三時—一八時  
東京大学本郷キャンパス 法文二号館 一番大教室  
東京メトロ丸の内線本郷三丁目駅徒歩8分・東京メトロ南北線東大前駅下車徒歩7分

主催：科学研究費研究助成金基盤研究A (海外学術調査)

「イスラエル国ガリラヤ地方の新出土シナゴーク資料に基づく一神教の宗教史再構築」 (代表者：市川裕)

問い合わせ：市川科研事務局 email: ichkaken@1.u-tokyo.ac.jp tel. 03-5841-3765 (東京大学宗教学研究室)